



発行所
兵庫県立姫路工業高等学校
姫路市伊伝居 600 番地 1
(079) 284-0111
編集発行
新聞部
編集責任者 片山 仁

今年の姫工祭は11月1日
2日の2日間、2日目の一
般公開では、3年生の食品
バザーも久々に行われ、盛
況のうちに終わった。ロボ
ット競技やペットボトルロ
ケット競技、ステージも展
示も販売も、どれもが素晴
らしかった。これらの成功
の裏には計り知れぬほど大
変な準備があった。今回は
その中で特に、AOSについ
て取り上げたい。

感動させる、笑顔にさせる
それが私たちの創る力

姫工祭

AOSは、衣装作りはちろんのこと、歩き方や目線、舞台でのポーズ決めなど、表情管理も加えて、見る人をあっと驚かすような全体としての芸術としなくてはならない。表現者として舞台に立つモデル役は特に不安と焦りが入り混じって、自信をなくしかけた人も少なからずいただろう。それでも周りと話し合い、仲を深め合い、諦めずに自らを奮い立たせ、前を向く彼らの姿は何よりも印象に残っている。ピンスポット担当だった私の感想は一言で言えば「凄い」。一言ではあるが、これは様々な感情が混じった言葉である。モデルの衣装、メイク、ポーズ、映像と音楽が切り替わるタイミングモデルの零気と衣装に合ったスポットライトや拍手、加えて、見る人の手拍子や拍手。人の心を動かすことはなかなか難しいが、客席には驚きと感動の渦が巻き起こり、演出だけではなく、観客のノリまでもが素晴らしく、そして「凄かった」。同じ気持ちになった人は沢山いると思う。

最後に、裏であちらこちらと動いてくださった先生方も含め、すべての人に、感謝の気持ちと手が碎けるほどの拍手を送りたい。

(2D野村)

中国工業高校生との交流

11月20日から25日にかけて中国海南省において「海外工業高校生との交流事業」が行われた。本校から派遣されたのは、E科2年河上優希さん（太子東中）三木駿佑さん（豊富小中）W科3年岡端稀さん（山陽中）小森大勢さん（網干中）の4人。いずれも「高校生ものづくり競技兵庫大会」で優勝するなどの活躍をしたメンバーだ。交流を持った

験もあったそう。参加メンバーの河上さんからは、「専門学科が細かく分かれ、それぞれに特化しており、技術面のレベルがとても高いことに驚いた」、岡さんからは「とにかく学校のスケールが違う。学校の中に企業が入っており、授業に実際の材料を使って練習していた。お金のかけ方の違いにビックリした。」という感想を聞いた。



77回生
インターンシップ
ありがとうございました！

11月13日から17日にかけて、2年77回生全員が参加したインターンシップが行われた。協力企業は79社。1社あたり2、3人の生徒を受け入れていただいた。この学年は、コロナ禍の影響で中学校で「トライやる・ウィーク」を経験しておらず、今回が初めての職業体験であった。

3月上旬には久々にインターンシップ発表会が催される予定である。



R科全国大会出場

R科の課題研究ロボットプログラミング班が、初めての試みとしてWRO Japan大会にチャレンジしたところ、兵庫県大会での優勝を果たし、8月に東京で開催された全国大会に出場して行われた出場メンバーはR科3年池本優輝さん（安室中）久保山和人さん（書写中）西本雄大さん（山陽中）の3名。WRO大会とは、定められた市販のロボットキット（レゴブロック等）を使用して課題を達成するための自律型ロボットの製作し、ポイントやタイムを競う大会である。全国大会では、15チーム中4位という結果であったが、顧問の先生の話では「もっと上位を目指す可能性がある」とのことだった。ぜひ、来年もチャレンジし、好成績を収めてもらいたい。



昨年の11月から取り組
 んできた実習教材「茶室」
 の実習がついに完了した。
 今年の11月からはM科の
 生徒だけでなく、D科の
 生徒も製作に加わった。
 D科の生徒は壁作りに携わ
 り「こて絵」を描いた。
 こて絵（鍍絵）とは、
 日本で発展した漆喰を用
 いて作られるレリーフの
 ことである。「鳥獣戯画」
 や竹林図、「芒に月」など
 のモチーフが描かれた。



実習教材
茶室

これまで作業に携わってきたM科が、破風板に自分たちで製作した銅板飾りを打ち付け、この実習は終了となった。しかしこの茶室は実習教材のため、今後取り壊される予定である。



沈思默工

新聞部の野村美今です。絵を描いたり、本を読んだりすることが好きで、文章力はあまり無いですが、書くことにも挑戦してみたいと思います。▼昔からいろいろなジャンルの本を読んできました。以前までは、現実離れたファンタジーやアクション要素が多めの話の本を好んで読んでいましたが、友達に借りたアガサ・クリスティーのミステリー小説をきっかけに、ついにミステリーのジャンルに手を広げました。謎を解く過程で己の頭脳と想像力を活かす主人公に感銘を受け、自分の世界が変わりました。▼私は猫がとても好きなのですが、和室で猫と戯れながら本を読む時間は、至福のひとつです。みなさんも、自分だけの至福を発見してみてください。▼これからも新聞を通して、みなさんに情報発信しつつ交流の輪を広げていこうと思います。

(2D野村)

2学期は、夏からの高い気温が続いていると思っていたら、いきなりガクツと下がったり、また上がった。気温の激しい変化に、体調を崩した人も多かったのではないだろうか。インフルエンザも早くから流行しており、手洗いやうがい、マスク着用など基本的な感染対策を徹底してほしい。▼期末考査も終わる。3年生は高校生活も残り少なくなった。次の進路へ向けて有意義な時間を過ごしてほしい。1、2年生も、冬休みに今までの振り返りや復習をしつかり行い、今後の生活や成績につなげていってもらいたい。▼新聞部は部員を募集している。記事を書いたりインタビューを行う。兼部でも大丈夫だ。興味がある方は、ぜひ新聞部顧問に申し出を。

(3R片山)